

モリみいる場所

喜びも悲しみも乗り越えて結婚52年目。
文句はあるけど、
いつまでも二人で

「もつと生きる、
もつと描く」
画家・熊谷守一 モリ94歳

「ああ、そりですか」
妻・秀子76歳



山崎努 樹木希林

加瀬亮 吉村界人 光石研 青木崇高 吹越満 池谷のぶえ きたろう 林与一 三上博史

監督・脚本: 沖田修一 音楽: 牛尾憲輔

製作: 新井重人 川城和実 片岡尚 鷺見貴彦 富嶽伸夫 佐竹一美 エグゼクティブプロデューサー: 永山雅也 プロデューサー: 吉田憲一 宇田川寧

撮影: 月永雄太 照明: 藤井勇 美術: 安宅紀史 装飾: 山本直理 錄音: 山本タカアキ 音響効果: 勝赤さくら 編集: 佐藤崇 スクリプター: 押田智子

VFXスーパーバイザー: 小坂一順 衣裳: 岩崎文男 ヘアメイク: 宮内三千代 特殊メイク: 百武朋 キャスティング: 南谷夢 助監督: 安達耕平 制作担当: 大田康一 ラインプロデューサー: 渡松洋一

宣伝協力: 文藝春秋 協力: 豊島区、岐阜県 特別協力: 熊谷権 制作プロダクション: 日活 ダブ 宣伝: レム

配給・製作幹事: 日活 製作: 日活 バンダイビジュアル イオンエンターテイメント ベンチャーバンク 朝日新聞社 ダブ

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金 ©2017「モリみいる場所」製作委員会 mori-movie.com G

この御夫婦とつき合っていると、
気もはれると天外に遊ぶ
心地がする。

—白洲正子（「別冊太陽」より）

名優・山崎努と樹木希林 円熟の夫婦を味わい深く 人生が愛おしくなる 珠玉の物語

山崎努演じる画家モリ（熊谷守一）は94歳。猫、蟻、揚羽蝶、鬼百合…毎日、庭のちいさな生命たちを飽くことなく眺め、絵を描いてきました。50歳を過ぎてようやく認められ、近頃はどうにか暮らせるようにはなったけれど…相変わらず周囲の期待通りには筆が進みません。

樹木希林が演じる妻・秀子は76歳。時流にも無頓着な夫と世間の間に立ち、時に光と影を包み込み、毎夜アトリエに送り出します。

この夫婦の52年間は、決して平坦ではありませんでした。子どもを亡くす経験もしました。二人は、じかに優しい言葉をかけあうことはしないけれども、ふと漏らす言葉に互いへの深い敬意と愛情がうかがえるのです。

山崎努と樹木希林－日本映画の至宝たる名優が演じる老夫婦の佇まいには、長い歳月を生きた深い絆が感じられます。ただ二人がいる。その姿だけで感動が心に広がります。



俊英沖田修一監督・脚本 最高のキャストが勢ぞろい

昭和49年、お茶の間の人気者はドリフとジュリー。どこか懐かしいある夏の1日を味わい深くユーモラスに描くのは、『南極料理人』『横道世之介』などの沖田修一。沖田監督の温かな目線のもと、加瀬亮（『硫黄島からの手紙』）、吉村界人（『ビジ

山崎努 樹木希林

加瀬亮 吉村界人 光石研 青木崇高

吹越満 池谷のぶえ きたろう 林与一 三上博史

監督・脚本：沖田修一

配給：日活 制作：日活・ダブ

©2017「モリのいる場所」製作委員会

mori-movie.com

twitter @mori_movie

facebook @morigeorge2017

ブーム到来。画家・熊谷守一（くまがいもりかず）

「没後40年 熊谷守一 生きるよろこび」（東京国立近代美術館にて3月21日まで開催）

書籍：小説版「モリのいる場所」（朝日文庫）4月7日発売予定

「モリカズさんと私」（藤森武／山崎努／沖田修一／田村祥蔵（文藝春秋）3月8日発売予定。

「コロナ・ブックス『熊谷守一』」（平凡社）5月下旬発売予定



5月より

特別鑑賞券¥1,500円
絶賛発売中（当日¥1,800の処）

劇場窓口でお買い上げの方に、ペ
チュニアの種（花言葉「あなたと一緒に
なら心がやわらぐ」）プレゼント！（限
定数/第一園芸）（詳しくは公式サイトまで）



銀座4丁目 和光ウラ通り 全席指定・入替制
シネスイッチ銀座
03-3561-0707 www.cineswitch.com

渋谷Bunkamura前交差点左折
ユーロスペース
03-3461-0211



「猫」1965年 愛知県美術館 木村定三コレクション

ルミネ池袋 8F

シネ・リーブル池袋
03-3590-2126

イオンシネマ他全国ロードショー